

浜松市佐久間地区MaaS実証実験

NPO法人がんばらまいか佐久間が運営する既存の公共交通空白地有償運送事業に、新たに電気自動車を利用したオンデマンド交通を提供するMaaSプラットフォームを導入した。地域交通の利便性向上や運行業務の合理化、エネルギーの地産地消に取り組むことで、地域交通の持続的な運営を目指す。

協議会の 構成員	【幹事】TIS株式会社、特定非営利活動法人がんばらまいか佐久間、 浜松市、株式会社浜松新電力		取組イメージ	
地域課題	● 利用者の少なさ等によるNPOがんばらまいか佐久間の事業の赤字 ● NPO法人がんばらまいか佐久間は地域コミュニティ活性化のため取組を実施しているが、取組の効果を高めるための環境が整備されていないこと ● ガソリンスタンドの減少や、災害時における地域の孤立等、地域BCP（事業継続計画）の脆弱性		MaaSを通じて提供しているサービスのイメージ 本MaaSサービス提供により、既存のMaaSプラットフォームをベースとした事業モデルを検証するとともに、EVを利用した自治体とのエネルギー施策の共創を推進していく  地域住民（ユーザー） → 乗車申込／事前予約（スマホ・固定電話・タブレットから） → プラットフォーム（ISOUプラットフォーム） → 予約可能（スマホ・固定電話・タブレットへ） → 呼び出したEVタクシーでエリア内を移動 → EVタクシー → 市街地等施設（各施設で仮想通貨を各媒体にチャージ（将来的に実施予定）） → EVへの電力供給（充電装置、送電、太陽光発電）	
取組の概要	期間	2020年9月24日～12月18日	検証結果	
	エリア	静岡県浜松市天竜区佐久間町	● 事前予約の時間枠や目的地指定などの課題はあるが、運行業務へのシステム利用は可能である。また、高齢者のシステムリテラシーや利用環境での課題も把握出来た ● 地域ポイント付与端末の設置や周知方法の課題が分かった ● 中山間地域のEV運行での走行距離や運用時間など留意点が確認出来た	
	MaaSシステム	TISが提供する既存システム「ISOUプラットフォーム」を利用		
	交通サービス	● 電気自動車を利用したオンデマンド交通の提供及び電話・スマホアプリでの配車の予約 ● 電気自動車で使用する電力は地域内のPV（太陽光発電）で発電		
	交通以外のサービス	● 地域内の病院やスーパー、郵便局を訪問した際や、地域のコミュニティが求める活動をした際などに地域ポイントを付与 ● 用途限定地域ポイントによる住民の地域貢献活動の見える化	今後の方向性	
検証内容	● ISOUプラットフォームが、NPOがんばらまいか佐久間のタクシー事業の効率性・利便性を向上させ、地域交通の持続的な運営に資するか否かの検証 ● 本モデルが地域交通と連携した地域コミュニティ活性化に資するかを検証 ● 中山間地域でのEV運行業務において解決すべき課題の検証		● 高齢者が安心して継続的に利用できるサービス基盤の構築と提供 ● 利用者の利便性や運行者の効率性の向上に向けたシステム改善 ● 今回実施出来なかった地域ポイントを活用した地域経済の活性化、住民の社会貢献の見える化、住民の行動変容に関する検証	